

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長尾雅司
 (氏名) 中川路 豊

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,048	16.2	2,518	2.7	2,605	2.1	1,919	△1.4
30年3月期第3四半期	12,090	22.2	2,450	40.4	2,552	51.0	1,947	65.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,756百万円 (△16.9%) 30年3月期第3四半期 2,113百万円 (68.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	187.09	186.76
30年3月期第3四半期	190.43	190.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	22,477	15,592	69.1	1,513.94
30年3月期	21,968	14,273	64.8	1,388.08

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,530百万円 30年3月期 14,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	45.00	45.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,000	7.8	3,500	6.4	3,600	7.3	2,600	4.1
								254.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	14,000,000 株	30年3月期	14,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	3,741,685 株	30年3月期	3,742,657 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	10,257,991 株	30年3月期3Q	10,225,623 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の拡大により引き続き堅調に推移しましたが、世界経済は、米中間の貿易摩擦の激化により中国経済の減速が顕著となり、先行きの不透明感が強まっています。

このような経済環境の下、当社グループは「お客様の望む時に、望むモノを、望むコストで」お届けすることに強いこだわりを持ち、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」の実現に向けて、これからも全社一丸となって邁進して参ります。

販売面では、当社グループ製品の主要販売先である半導体製造装置市場及び建設機械、工作機械・産業機械市場における受注の拡大により、前年同期の売上高を上回ることが出来ました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は140億48百万円（前年同四半期比16.2%増）となり、営業利益は25億18百万円（同2.7%増）、経常利益は26億5百万円（同2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億19百万円（同1.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下2事業部を報告セグメントとしております。

(C P事業部)

半導体製造装置及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けにクリーンな継手、バルブ、配管ユニット製品等を設計・生産しており、主に半導体製造装置向けの受注増加により、売上高は79億71百万円（前年同四半期比12.0%増）となり、セグメント利益は24億60百万円（同1.5%増）となりました。

(G P事業部)

建設機械、工作機械・産業機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を設計・生産しており、建設機械向けを中心とした受注の増加により、売上高は61億79百万円（前年同四半期比30.5%増）となり、セグメント利益は16億6百万円（同17.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億8百万円増加し、224億77百万円となりました。これは、たな卸資産が8億85百万円、有形固定資産が6億51百万円増加した反面、売上債権が11億5百万円減少したことなどによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億10百万円減少し、68億84百万円となりました。これは、長期借入金が6億円、未払金が2億92百万円、未払法人税等が2億82百万円減少した反面、賞与引当金が4億円増加したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億19百万円増加し、155億92百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益19億19百万円と配当金支払い4億61百万円により、利益剰余金が14億57百万円増加したことなどによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末64.8%から当第3四半期連結会計期間末69.1%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末1,388円08銭から当第3四半期連結会計期間末1,513円94銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,230	5,478
受取手形及び売掛金	4,282	4,222
電子記録債権	2,067	1,022
商品及び製品	394	626
仕掛品	865	1,227
原材料及び貯蔵品	1,220	1,511
その他	288	272
流動資産合計	14,349	14,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,733	1,680
機械装置及び運搬具（純額）	949	1,019
土地	2,211	2,381
建設仮勘定	196	641
その他（純額）	49	68
有形固定資産合計	5,140	5,791
無形固定資産		
無形固定資産	405	416
投資その他の資産		
投資有価証券	1,683	1,328
長期貸付金	8	7
関係会社長期貸付金	0	—
繰延税金資産	328	521
その他	53	50
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,073	1,907
固定資産合計	7,619	8,115
資産合計	21,968	22,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,087	941
短期借入金	807	1,002
未払金	644	351
未払法人税等	734	452
賞与引当金	—	400
役員賞与引当金	38	—
その他	246	253
流動負債合計	3,558	3,401
固定負債		
長期借入金	2,287	1,687
退職給付に係る負債	1,386	1,262
長期末払金	233	281
資産除去債務	70	70
長期預り保証金	159	160
その他	—	20
固定負債合計	4,137	3,483
負債合計	7,695	6,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	635	636
利益剰余金	14,593	16,050
自己株式	△2,964	△2,963
株主資本合計	13,828	15,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349	201
為替換算調整勘定	60	41
その他の包括利益累計額合計	409	242
新株予約権	24	46
非支配株主持分	10	14
純資産合計	14,273	15,592
負債純資産合計	21,968	22,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	12,090	14,048
売上原価	8,090	9,774
売上総利益	3,999	4,274
販売費及び一般管理費	1,549	1,755
営業利益	2,450	2,518
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	33
為替差益	4	40
複合金融商品評価益	52	—
受取保険金	41	—
持分法による投資利益	—	15
その他	35	16
営業外収益合計	160	107
営業外費用		
支払利息	10	10
持分法による投資損失	0	—
支払補償費	39	—
その他	9	8
営業外費用合計	59	19
経常利益	2,552	2,605
特別利益		
負ののれん発生益	136	—
退職給付に係る負債戻入額	—	37
特別利益合計	136	37
税金等調整前四半期純利益	2,688	2,643
法人税、住民税及び事業税	850	847
法人税等調整額	△108	△127
法人税等合計	741	719
四半期純利益	1,947	1,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,947	1,919

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,947	1,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	△148
為替換算調整勘定	—	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△5
その他の包括利益合計	165	△167
四半期包括利益	2,113	1,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,113	1,752
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P 事業部	G P 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,109	4,734	11,843	246	12,090
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	0	6	—	6
計	7,115	4,734	11,850	246	12,096
セグメント利益	2,423	1,371	3,795	66	3,862

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,795
「その他」の区分の利益	66
セグメント間取引消去	△7
全社費用（注）	△1,427
棚卸資産の調整額	23
四半期連結損益計算書の営業利益	2,450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結会計期間において、南通伊原流体系統科技有限公司の出資持分を取得し、連結子会社になったことにより、負ののれん発生益136百万円を四半期連結損益計算書上に計上しております。なお、当該負ののれん発生益は、報告セグメントに配分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,797	6,107	13,905	143	14,048
セグメント間の内部売上 高又は振替高	173	71	245	—	245
計	7,971	6,179	14,150	143	14,293
セグメント利益	2,460	1,606	4,067	45	4,112

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,067
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	△18
全社費用(注)	△1,575
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	2,518

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。